

シラバス

I. クラスの目標

- A. 生徒は、帰納的聖書研究法の手順（観察、解釈、関連性、適用）を理解し、それをマタイの福音書に用いて、筆者の意図を客観的に正しく理解する手順を身に付けること。
- B. 生徒は、歴史的・文化的・文学的・文法的解釈を理解・実践すること。
- C. 生徒は、適用の原則を理解し、正しく聖書の書かれた筆者の時代のメッセージを現代に適用することに慣れること
- D. 生徒は、生涯聖書に聞き、み言葉の真理を伝える者になるために、聖書を読みみ心を理解する喜びを深く体験すること。

II. 授業の進め方

その日に決められたテキストを読み、提出物を完成させクラスで共に学び合う。

III. テキスト・参考文献

- A. Robert Traina, *Methodical Bible Study*
- B. G. D. フィー、新約聖書の釈義 永井竹司訳、教文館、1998
- C. Roy Zuck, *Basic Bible Interpretation*
- D. G. D. フィー、ダグラス・スチュワート、聖書を正しく読むために、いのちのことば社、2014
- E. 聖書ソフト（アコードダンス Accordance）：聖書、聖書地図、語句辞典

IV. コースの課題

- A. スケジュールされた提出物をクラス前に準備する（80%）
- B. リーディング（20%）：マタイを7回読むこと。その他、クラスにスケジュールされたテキストの箇所を読むこと。

- V. コースの評価：60点以下はFで取り直し。(A+=98, A=95, A-=92, B+=88, B85, B-=82, C+=78, C75, C-=72, D+=68, D=65, D-=62, F=60)

VI. スケジュール

クラス 1	1) クラスの説明とオバビュースタディー 2) 聖書を学ぶ意味と手順：観察 3) マタイの福音書のオバビュースタディー：
Traina : 1 章に目を通す	① : マタイの中心テーマの流れが見えるように何回か読んで、 ① 大きな段落区分をし、② 各区分に題を付ける； ③ メインテーマが何で、 ④ 各区分と区分内での各段落の展開を説明する ② マタイ 5:19-20 から 20 の観察事項を書き出しなさい
クラス 2	1) 観察：作文の要素 2) ダイアグラムの書き方のイントロ 3) 歴史的背景 4) ③ マタイ 1 -7 の観察／解釈し構成 (テーマの発展) を記すこと 5) 関連性：アイデアと議論 (構成／ア ーギュメント) を理解する 6) ワードスタディーを理解する
講解説教入門 2 章 by H.Robinson を読み、 練習問題を行うこと	
クラス 3	1) 解釈：詩篇 (形式) と比喩的表現 2) ④ マタイ 8:1-11:1 を観察しアイ デアと議論 (テーマの発展) を記すこと 3) ⑤ コンコルダンスを用いた「希望」 のワードスタディー
クラス 4	1) 解釈：預言書と黙示文学 2) 旧約にある神の国とイエスの御国 3) ⑥ マタイ 11:2-13:52 を観察／解 釈しアイデアと議論 (テーマの発 展) を記すこと

クラス 5 1) ⑦マタイ 13:53-19:2 を観察／解釈しアイデアと議論（テーマの発展）を記すこと
2) 旧約の新約引用：
⑧2テサロニケ 2:3 の「不法の人」とダニエル 11:36; 9:27 とマタイ 24:15 のつながりを記すこと

クラス 6 1) ⑨マタイ 19:3-26:2 を観察／解釈しアイデアと議論（テーマの発展）を記すこと
2) 聖書全体のテーマ：神の国、救いの2つの面：天国と報酬

休暇

クラス 7 1) ⑩マタイのアーギュメント
2) 神の国のテーマの進展：主の祈り、13章；16章；21:43；24章；28章
3) 旧約の新約引用

クラス 8 1) 解釈：文化的な教えの見分け方

